令和　7　年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

まちづくり目標	未来につなぐまち	政策名	誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり
施策No.	13	施策名	学校教育の充実
主管課名	教育総務課		
関係課名	学校給食センター・こども課・健康センター		

10年後の目指す姿	教育活動が充実するとともに教育環境が整備されています。

施策の現状及び課題	現　状	・児童生徒の意欲的な学習への取組や、互いを尊重し合う豊かな心の育成に向けて、様々な教育活動に取り組んでいます。 ・児童生徒が安全・安心な学校で学ぶことができるように教育環境の整備に取り組んでいます。
	課　題	・学習支援員やALT等の人材の充実、ICTを活用した教育やふるさとキャリア教育の推進を通して、児童生徒の学力向上及び豊かな心の育成を図る必要があります。 ・ICT機器を含めた学校施設・設備の適切な維持管理や通学時の安全確保に向けて取り組む必要があります。

施策を進めるための役割分担	行　政	・児童生徒が意欲的に学習に取り組むための教育活動の充実に取り組みます。 ・自己肯定感を身に付け、命を尊び、他者を思いやり支え合う心を育成します。 ・安全で健康な生活及び望ましい食生活など、健康的な生活習慣を形成する環境を整備します。 ・児童生徒が安全で安心して学習できる環境を整備します。
	市　民 ・ 事業所	・子どもの基本的生活習慣（早寝・早起き、食事のマナー、あいさつなど）や家庭学習の習慣が身に付くよう努めます。 ・学校教育に対する理解を深め、学校との協力・連携に努めます。 ・児童生徒のプログラミング教育推進の支援に努めます。

目指す姿の実現のための取組（基本事業）	基本事業①	確かな学力を育む教育の推進
	基本事業②	豊かな心を育む教育の推進
	基本事業③	健やかな体を育む教育の推進
	基本事業④	教育環境の整備・充実

	区　分	単位	3年度実績	4年度実績	5年度実績	6年度実績	7年度実績	8年度実績
施策のトータルコスト	A. 本施策を構成する事務事業の数	本	38　(36)	38　(36)	39　(37)	39　(37)	40　(38)	
	基本事業①を構成する事務事業の数（うち自治事務数）	本	10　(10)	10　(10)	10　(10)	10　(10)	11　(11)	
	基本事業②を構成する事務事業の数（うち自治事務数）	本	6　(6)	6　(6)	7　(7)	6　(6)	6　(6)	
	基本事業③を構成する事務事業の数（うち自治事務数）	本	9　(7)	9　(7)	9　(7)	9　(7)	9　(7)	
	基本事業④を構成する事務事業の数（うち自治事務数）	本	13　(13)	13　(13)	13　(13)	14　(14)	14　(14)	
	B. 事業費　（事務事業の事業費合計）	千円	507,319	771,697	789,630	943,306	974,625	
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円	98,326	87,346	94,991	122,220	128,567	
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円	13,327	16,309	24,778	36,040	38,755	
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円	129,904	207,891	190,863	322,110	336,512	
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円	265,762	460,151	478,998	462,936	470,791	
	C. 施策に携わる正規職員数合計	人	60	60	63	62	63	
	D. 事務事業に要する年間総時間	時間	14,940	15,380	15,440	15,440	15,410	
	E. 人件費　（D×1時間あたりの平均人件費）	千円	58,610	59,613	61,081	63,366	65,539	
	F. トータルコスト　（B＋E）	千円	565,929	831,310	850,711	1,006,672	1,040,164	
効率性指標	市民1人あたりにおける施策の G. 事業費　（定義式　：　B／人口 ）	円	12,534	19,332	20,106	24,427	25,645	
	同　上 H. 人件費　（定義式　：　E／人口 ）	円	1,448	1,493	1,555	1,641	1,724	
	同　上 Ⅰ. トータルコスト　（定義式　：　F／人口 ）	円	13,981	20,825	21,661	26,068	27,369	
参　考	1時間あたりの平均人件費	円	3,923	3,876	3,956	4,104	4,253	
	魚津市の人口（各年度12月末時点）	人	40,477	39,919	39,274	38,617	38,005	

基本事業概要シート①

施策No.	13	施策名	学校教育の充実
基本事業名		①確かな学力を育む教育の推進	
基本事業の目的(意図)		英語教育やプログラミング教育を推進するとともに、特別支援スタディメイトの配置等により特別支援教育の充実を図ります。	
令和7年度における 主な事業内容(活動内容)		【英語教育推進事業】 ・全小中学校に計5名の外国語指導助手を配置し、中学校の英語や小学校での外国語活動の補助を行いました。 【特別支援教育推進事業】 ・発達障害等、特別な支援が必要な児童生徒に対して、スタディメイトの配置等、学習指導上の支援を行いました。また、特別支援教育コーディネーターの配置やにこにこ相談会の開催により、幼保小の連携を図りながら切れ目のない支援を実施しました。 【学力向上プラン研究事業】 ・中学校2校において、放課後学習をのべ32回行いました。 ・「魚津っ子の学び向上委員会」を2回開催しました。 【小学校教育研究事業、中学校教育研究事業】 ・教職員の指導力向上を目的とした研修会を12回行いました。 【プログラミング教育推進事業・ロボコン魚津大会実施事業】 ・紅ズワイガニロボコン魚津大会を開催し、10チーム12名の参加がありました。 【幼保小接続事業】 ・幼保小架け橋期コーディネーターを新たに委嘱し、「魚津市幼児教育・小学校教育接続ロードマップ」に基づき、幼児教育から学校教育への円滑な移行を目的とした「架け橋期カリキュラム」の策定・実施に向けて小学校1年生の4月を円滑に始めるためのスタートカリキュラムを作成しました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
学習の達成状況 (県小教研、中教研学力調査における平均との比較)	%	101.0(小)	98.8	101.2	101.4	101.6	101.8	102.0	103.0
				100.0	98.1	97.0	98.9	98.9	
		93.6(中)	94.4	96.0	97.0	98.0	99.0	100.0	101.0
				96.0	99.3	99.4	94.2	94.8	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) −:評価対象外事業)

No.	会計名		事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計		教育環境一般管理費	80,448,202	67,643,612	12,804,590	0	−	教育総務課
2	一般会計	○	英語教育推進事業	32,062,000	32,061,900	100	0	B	教育総務課
3	一般会計	○	特別支援教育推進事業	4,674,000	4,311,021	362,979	0	A	教育総務課
4	一般会計		学力向上プラン研究事業	1,261,000	773,483	487,517	0	−	教育総務課
5	一般会計		教育センター運営費	4,321,000	3,725,345	595,655	0	−	教育総務課
6	一般会計		小学校教科用図書給付事業	2,635,000	2,520,129	114,871	0	−	教育総務課
7	一般会計	○	小学校教育研究事業	2,944,000	2,547,959	396,041	0	B	教育総務課
8	一般会計	○	プログラミング教育推進事業・ロボコン魚津大会実施事業	3,324,000	1,980,697	1,343,303	0	B	教育総務課
9	一般会計		中学校教科用図書給付事業	7,230,664	7,212,389	18,275	0	−	教育総務課
10	一般会計	○	中学校教育研究事業	2,178,000	1,869,357	308,643	0	B	教育総務課
11	一般会計	○	幼保小接続事業	4,183,798	3,921,507	262,291	0	B	教育総務課
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合計				145,261,664	128,567,399	16,694,265	0		

基本事業概要シート②

施策No.	13	施策名	学校教育の充実
基本事業名		②豊かな心を育む教育の推進	
基本事業の目的(意図)		地域での職場体験によるふるさと教育や、乳幼児とのふれ合いによるいのちの教育を推進し、児童生徒の豊かな心の育成に取り組みます。	
令和7年度における主な事業内容(活動内容)		【学校司書配置事業】 ・市内の全ての小中学校に学校司書配置を継続し、児童生徒の読書活動の推進に取り組みました。 【教育支援センター運営事業】 ・教育支援センター「すまいる」において、不登校傾向の児童生徒の自立を目指し、一人ひとりに合わせた支援を行いました。 さらに、令和6年度から小学校に「校内すまいる」を設置し、登校はできるが教室に入れない児童の居場所を作りました。 【情操教育推進事業】 ・小中学校において「いのちの授業」を9回実施しました。 ・いじめ防止対策推進委員会を開催しました。 【学校教育のあり方検討事業】 ・学びの多様化や教育ニーズの変化、地域社会の担い手不足など、新たな課題にも対応するため、令和8年度以降の取組を示した「第3期魚津市教育振興基本計画」を策定しました。 【ふるさとキャリア教育推進事業】(再掲) ・「ふるさとキャリア教育スタンダードプラン」に基づき、ふるさと発見バス事業を小学校1、2、4、5、6学年に実施しました。 ・地域への愛着をもってもらうため、地場産業体験事業を小学校3学年に実施しました。 ・社会に学ぶ14歳の挑戦事業を市内92事業所の協力により実施しました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(中間目標値)	12年度(目標値)
不登校児童・生徒の割合	%	1.05(小)	1.15	1.05	1.0	0.9	0.8	0.7	3.8
				1.40	2.06	3.88	4.09	4.66	
		4.43(中)	5.39	3.8	3.6	3.4	3.2	3.0	7.4
				5.80	8.26	8.43	7.98	7.59	
児童生徒一人当たりの1か月の読書冊数	冊	6.9	7.6	7.2	7.6	7.9	8.2	8.5	10.0
				8.4	8.5	6.7	6.2	6.1	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) −:評価対象外事業)

No.	会計名		事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計		子どもの権利推進事業	97,000	64,139	32,861	0	−	こども課
2	一般会計	○	学校司書配置事業	14,533,000	13,008,794	1,524,206	0	B	教育総務課
3	一般会計	○	教育支援センター運営事業	31,472,000	25,127,272	6,344,728	0	A	教育総務課
4	一般会計	○	情操教育推進事業	493,000	172,707	320,293	0	A	教育総務課
5	一般会計		学校教育のあり方検討事業	447,150	382,150	65,000	0	−	教育総務課
6	予算なし		スクールカウンセラー等配置事業	0	0	0	0	−	教育総務課
7	一般会計	○	ふるさとキャリア教育推進事業(施策4①再掲)	(5,166,000)	(3,797,219)	(1,368,781)	(0)	A	教育総務課
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合計				47,042,150	38,755,062	8,287,088	0		

基本事業概要シート③

施策No.	13	施策名	学校教育の充実
基本事業名		③健やかな体を育む教育の推進	
基本事業の目的(意図)		望ましい食生活の習慣が身に付くよう、食育を推進します。また、学校給食での地場産食材の利用拡大を図ります。	
令和7年度における 主な事業内容(活動内容)		【食育推進事業】 ・「第3期魚津市食育推進計画」に基づき、継続して関係各課及び各種団体と事業を連携実施しました。 【児童・教職員健康診断事業、生徒・教職員健康診断事業】 ・児童生徒及び教職員の健康診断等を行いました。 【学校給食運営事業】 ・栄養バランスの取れた、安全でおいしい学校給食を提供しました。 ・「魚津市学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、食物アレルギーを有する児童生徒が、安全・安心に学校生活を送ることができるよう食物アレルギー事故等を防止に取り組みました。 ・地場産食材使用率向上のため積極的な使用を心がけました。 【学校給食公会計化事業】 ・令和6年度からの学校給食費公会計化を継続しました。 ・子育て世帯の経済的負担を軽減するため、令和8年度からの小学校給食費の無償化を決定しました。 【うおづの食材活用プロジェクト事業】(再掲) ・学校給食は、地場産物、郷土料理や行事食等を考慮した献立としました。毎月19日の「うおづもりもりランチの日」や旬の食材を紹介する「うおづの日」には魚津産食材を多く使ったメニューを提供し、学校給食への地場産食材の使用拡大とPRに努めました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 (中間目標値)	12年度 (目標値)
けがや病気の件数(1日あたりの保健室来室人数)	人	7.2	7.3	6.8	6.4	6.1	5.8	5.5	4.0
				7.1	7.1	8.2	7.4	7.6	
学校給食の残食率	%	2.5	3.3	3.0	2.7	2.2	1.8	1.5	1.0
				3.9	4.9	5.5	5.6	6.0	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) −:評価対象外事業)

No.	会計名		事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	予算なし		食育推進事業	0	0	0	0	−	教育総務課
2	一般会計	○	児童・教職員健康診断事業	8,585,000	7,529,657	1,055,343	0	B	教育総務課
3	一般会計	○	プール授業外部委託モデル事業	5,200,000	3,767,720	1,432,280	0	B	教育総務課
4	一般会計	○	生徒・教職員健康診断事業	5,391,000	4,514,751	876,249	0	B	教育総務課
5	一般会計		学校給食配送業務	19,404,000	19,069,390	334,610	0	−	学校給食センター
6	一般会計	○	学校給食運営事業	87,280,620	85,924,743	1,355,877	0	A	学校給食センター
7	一般会計		学校給食施設維持管理事業	42,696,380	42,199,811	496,569	0	−	学校給食センター
8	予算なし		学校給食ふるさと食材活用事業	0	0	0	0	−	学校給食センター
9	一般会計	○	学校給食公会計事業	191,094,000	173,505,584	17,588,416	0	A	学校給食センター
10	一般会計	○	うおづの食材活用プロジェクト事業(施策23③再掲)	(400,000)	(225,755)	(174,245)	(0)	A	農林水産課
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合計				359,651,000	336,511,656	23,139,344	0		

基本事業概要シート④

施策No.	13	施策名	学校教育の充実
基本事業名		④教育環境の整備・充実	
基本事業の目的(意図)		学校規模適正化を進めるとともに、教育現場の働き方改革推進の視点からも、ICTを含めた教育環境整備に取り組みます。また、関係機関と連携して児童生徒の安全な通学を確保します。	
令和7年度における主な事業内容(活動内容)		【小中学校維持管理事業】 ・東部中学校及び清流小学校の校舎照明LED化工事など小中学校施設の維持修繕を行いました。 【働き方改革推進】 ・教職員が心身共に健康で、一人一人の児童生徒に向き合うことができるよう、学校における働き方改革を一層推進するため「魚津市立学校働き方改革推進プラン」を策定しました。 【教育ネットワーク管理事業】 ・各校への定期巡回及び遠隔ヘルプデスクによる学校現場のICT活用支援を行う「GIGAスクール運営支援センター」の配置を継続しました。 【小中学校教育振興・情報化事業】 ・児童生徒に貸与している1人1台のタブレット端末の更新を行いました。 【通学安全推進事業】 ・「魚津市小中学校通学安全プラン」に基づき、魚津市通学安全推進会議を開催するとともに、関連事業の推進に努めました。地域住民には「ご近所見守り推進事業」として活動していただくほか、「ながら見守り連携事業」では、29事業所の協力を得ています。 【小学校遠距離通学援助事業】 小学校の遠距離通学を支援するためスクールバスを運行しました。 【コミュニティ・スクール推進事業】 ・全小中学校で学校運営協議会を計21回開催しました。このコミュニティ・スクール制度の仕組みを活用し、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」の推進に努めました。	

成果指標名	単位	実績値		目標値(上段)及び実績値(下段)					
		令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度(中間目標値)	12年度(目標値)
ICT機器の活用率	%	―	55.2(小)	75.0	80.0	85.0	90.0	95.0	100
				86.8	93.5	97.4	98.7	95.5	
		―	79.2(中)	97.0	92.0	93.0	94.0	95.0	100
				98.6	100	100	100	100	

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) −:評価対象外事業)

No.	会計名		事務事業名	令和7年度 予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	うち次年度繰越額(円)	評価結果	担当課
1	一般会計		教育委員会の会議及び委員に関する事務	332,000	228,224	103,776	0	−	教育総務課
2	一般会計		教育委員会事務局一般管理事業	9,185,000	7,406,308	1,778,692	0	−	教育総務課
3	一般会計		私学等教育振興事業	550,000	550,000	0	0	−	教育総務課
4	一般会計		奨学金貸付事業	5,769,000	3,214,800	2,554,200	0	−	教育総務課
5	一般会計		教育ネットワーク管理事業	17,512,850	17,412,120	100,730	0	−	教育総務課
6	一般会計	○	通学安全推進事業	438,000	386,775	51,225	0	A	教育総務課
7	予算なし	○	学校規模適正化事業	0	0	0	0	B	教育総務課
8	一般会計	○	コミュニティ・スクール推進事業	1,636,000	1,307,390	328,610	0	A	教育総務課
9	一般会計		小学校遠距離通学援助事業	61,611,000	54,186,982	7,424,018	0	−	教育総務課
10	一般会計	○	小学校維持管理事業	135,212,000	124,067,199	11,144,801	2,233,000	A	教育総務課
11	一般会計	○	小学校教育振興・情報化事業	127,308,000	123,442,070	3,865,930	0	A	教育総務課
12	一般会計		中学校維持管理事業	84,375,000	76,001,690	8,373,310	0	−	教育総務課
13	一般会計	○	中学校教育振興・情報化事業	64,979,000	62,587,667	2,391,333	0	A	教育総務課
14	予算なし		就学事務	0	0	0	0	−	教育総務課
15									
16									
17									
18									
19									
20									
合計				508,907,850	470,791,225	38,116,625	2,233,000		

施策No.	13	施策名	学校教育の充実

令和7年度の評価結果（基本事業の成果を考慮し記載）

1. 施策（基本事業）の成果水準とその背景
（成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述）

【①確かな学力を育む教育の推進】
◆学習状況については、指標とする県の学力調査において、県平均に対する市平均の割合が、小学校は（R6 98.9%→R7 98.9% ）前年度と変わらず、中学校は（R6 94.2%→R7 94.8%）前年度をやや上回っています。

【②豊かな心を育む教育の推進】
◆不登校の児童生徒の割合は、前年度と比較して小学校は0.57ポイント増加、中学校は0.39ポイント減少しましたが、全国的には増加傾向となっています。
◆1か月間に読んだ本の冊数は、前年度と比べて一人当たり小学生は0.3冊減少して9.9冊となっています。中学生は0.2冊増加して2.3冊となっています。

【③健やかな体を育む教育の推進】
◆けがや病気の件数については、前年度から0.2人増加し7.6人となっています。
◆学校給食の残食率については、6.0%と年々増加しています。

【④教育環境の整備・充実】
◆小中学校教室の冷房化率は、普通教室100%（全国：100%、県：100%）、特別教室100%（全国：93.6%、県：65.5%）となっています。（市：R8．3．31現在、全国・県：R6．9．1現在）

2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み（事務事業）の総括
（令和7年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取組み内容を中心に記述）

【①確かな学力を育む教育の推進】
＜小学校教育研究事業、中学校教育研究事業＞
◆「魚津っ子の学び向上委員会」の学力向上部会の活動を継続し、市全体で学力向上への取組を進めました。
＜特別支援教育推進事業、学習支援員派遣事業＞
◆特別支援スタディメイトや学習支援員を適切に配置することにより、多様な学びのニーズに対応しました。
＜英語教育推進事業＞
◆全小学校への専任ALT配置により、英語に親しむ活動を行い、言葉の壁を超えるスキル向上を行いました。
◆新北市政府教育局と「教育分野の協力に関する覚書MOU」を締結し、より一層の文化・教育交流が促進されるよう、お互いに協力して行くことに合意しました。
◆市内全小中学校において、台湾とのオンライン交流が始まりました。

【②豊かな心を育む教育の推進】
＜情操教育推進事業＞
◆いのちの授業の実施により、豊かな心の醸成に努めました。
＜ふるさとキャリア教育推進事業＞
◆ふるさと発見バス事業や地場産業体験事業の体験を通じ、ふるさと魚津に対し、理解を深めました。
◆「魚津っ子の学び向上委員会」の心の教育推進部会の活動を継続し、「ふるさとキャリア教育スタンダードプラン」に基づき、より良いふるさとキャリア教育を目指しました。
＜学校司書配置事業＞
◆学校司書配置の継続と図書室の蔵書情報を電子化により、児童生徒の読書環境の充実化に努めたことにより、授業の調べ学習等が充実しました。
＜教育支援センター運営事業＞
◆市SC（スクールカウンセラー）を配置し、市SSW（スクールソーシャルワーカー）との連携により、家庭における生活環境の改善も含めた不登校対策を行いました。
◆生徒指導協議会と連携し、WEBQU（よりよい学校生活と友達づくりのためのアンケート）の活用・分析を進め、不適応児童生徒の早期発見・早期対応を目指すとともに、子どもの居場所の選択肢を増やすため、市内全小学校に校内教育支援センター（校内すまいる）の設置を継続しました。
＜学校教育のあり方検討事業＞
◆第2期魚津市教育振興基本計画（計画期間：R3～R7年度）に基づき、その基本理念である「人を思いやり、ともに学び合い、新しい時代を切り拓く人づくり」に努めました。その上で、学びの多様化や教育ニーズの変化、地域社会の担い手不足など、新たな課題にも対応するため、令和8年度以降の取組を示した「第3期魚津市教育振興基本計画」を策定しました。

【③健やかな体を育む教育の推進】
＜食育推進事業＞
◆令和5年度に策定した第3期魚津市食育推進計画に基づき、地場産食材の利用拡大のため、生産者及び関係機関と食材調達の調整を行い、地元の新鮮な食材を多く使用した献立を工夫しました。
◆令和6年度から実施している学校給食費に関する収入及び支出を、市の予算に組み入れる公会計化を継続しました。

【④教育環境の整備・充実】
＜小中学校情報化事業・教育ネットワーク管理事業＞
◆児童生徒へタブレット端末を貸与し、電子黒板等のICT機器を活用した結果、個別最適な学びと協働的な学びの環境を提供することができました。
◆国のGIGAスクール構想に伴い整備した1人1台のタブレット（令和2年度調達）が耐用年数を迎えたため、市内小中学校に通う全児童生徒のタブレットを一括更新しました。
＜小学校遠距離通学援助事業＞
◆高温化する夏季の下校時における安全性を確保するため、清流小学校及びよつば小学校下で、スクールバス下校便の夏季特別運行を行いました。
＜働き方改革推進＞
・教職員が心身共に健康で、一人一人の児童生徒に向き合うことができるよう、学校における働き方改革を一層推進するため「魚津市立学校働き方改革推進プラン」を策定しました。

3. 施策の課題認識及び取り組み状況
（前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述）

【①確かな学力を育む教育の推進】
◆「魚津っ子の学び向上委員会」の取組を推進し、市全体で学力向上の取組を進めます。
◆個に応じた学習支援の充実のため、学習支援員やスタディメイト等の各種支援員の適切な配置に努めます。
◆ALTを活用し、英語教育の推進に取り組みます。併せて、より児童が英語に親しみ読み話す力を楽しみながら身に付けられるよう、授業の工夫点などを教員に助言するため、知識と経験が豊富な英語教員OBをアドバイザーを配置します。
◆台湾新北市政府教育局と締結した教育に関する覚書MOUに基づき、生きた英語に触れる機会を増やすとともに児童生徒の国際的な視野の育成を目指します。
◆中学校の学習を支援する放課後学習サポート事業は、希望者の減少や支援員の担い手不足といった課題に対応するため、関係機関と連携して対応策を検討します。

【②豊かな心を育む教育の推進】
◆令和7年度から配置した幼保小架け橋期コーディネーターにより、保育所等、小学校に対して巡回や助言をし、架け橋期カリキュラム策定やその実施に努めます。
◆令和2年度から全面実施した「魚津市ふるさとキャリア教育スタンダードプラン」に基づき、関係機関と連携してふるさとキャリア教育の推進に取り組みます。
◆学校、関係機関と連携した指導により、学校復帰や一時登校など改善傾向に向かう児童生徒がいる一方で、不登校傾向の児童生徒が増える傾向にあります。市SSW、市SCが中心となった、早期からの関係機関との組織的な取組により、当該児童生徒への専門的な指導・相談ができるようにします。
◆不登校気味の児童生徒への支援として、R6年度に校内教育支援センター（校内すまいる）を市内全小学校に開設し、登校できるが教室に入れない児童の居場所作りに取り組みましたが、学校に登校できない児童生徒に対する支援が課題となっており、オンラインすまいるによる家から外出しなくとも児童生徒が学習支援を受けることができる体制づくりに取り組みます。
◆発達障害等特別な支援を要する児童生徒の情報共有を行いながら、特別支援コーディネーターを中心に各校ごとにチームとなって、切れ目のない支援に努めます。
◆電子化した学校図書館の蔵書情報を活用し調べ学習などで、更なる児童生徒が利用しやすい環境の実現に引き続き、努めます。
◆導入したコミュニティ・スクール制度を活用し、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」の推進に引き続き、努めます。
◆学びの多様化や教育ニーズの変化、地域社会の担い手不足などの課題にも対応するため、第3期魚津市教育振興基本計画に基づき教育振興を計画的に進めます。

【③健やかな体を育む教育の推進】
◆令和5年度に策定した「第3期食育推進計画」に基づき事業を実施し、関係機関と連携を図りながら、食育の推進に引き続き、取り組みます。
◆令和6年度から学校給食費の管理を私会計から公会計へ移行し、学校教職員の業務負担の軽減及び会計の透明性確保に引き続き、努めます。

【④教育環境の整備・充実】
◆「小中学校就学援助事業」については、家庭の経済的な理由によらず等しく教育を受けることができるよう支援を行います。加えて、「子どもの貧困」や「ヤングケアラー」の問題については、関係各課、関係機関と連携し、早期に発見し支援につなげられるよう努めます。
◆魚津市小中学校通学安全プランに基づき、通学路の安全点検を実施するなど、児童生徒の登下校の安全確保に取り組みます。特に高温化する夏季の通学について、星の杜小学校、よつば小学校及び清流小学校下でスクールバス下校便の夏季特別運行を行います。
◆「魚津っ子の学び向上委員会」が中心となりICT機器を活用した授業づくりに関する研修の充実に努めます。
◆児童生徒へのよりよい教育の実現に向けて、「魚津市立学校働き方改革推進プラン」に基づき、校務支援システムの有効的な活用や部活動の地域展開の推進等に取り組み、学校における働き方改革を進めます。
◆令和2年度に調達した指導者用端末が耐用年数を迎えるため、市内小中学校の教職員のタブレットを更新します。